

日本市場をターゲットとしたヘッジファンド を販売します

～インフレ時代における新たな運用手法の提供へ～

当社は 2011 年より海外の著名ヘッジファンドと提携し、一般投資家のアクセスが困難な運用戦略を日本国内の個人投資家にも提供する「ファンド・アクセス・プラットフォーム」を構築してまいりました。本年にはヘッジファンドビジネスに関する特許も取得し、取扱ファンド数は 12 本へと拡大。ヘッジファンド専門証券会社として、世界の富裕層が活用する運用手法を日本に紹介する取り組みを進めています。

■ 日本マーケットの成長機会の到来

日経平均株価が 5 万円を超えるなど、日本市場は 30 年ぶりに世界中から注目を集めています。

企業価値の再評価、ガバナンス改革、金利の正常化といった構造変化が進む中で、ヘッジファンドの投資機会も大きく広がっています。

この環境を踏まえ、当社は日本市場を対象としたヘッジファンドの販売をすることに至りました。

■ インフレの時代にヘッジファンドが有効である理由

日本もいよいよインフレの時代に突入し、従来型の資産運用だけでは実質リターンの確保が難しくなっています。

金利上昇や市場変動により、株式・債券の双方が影響を受けやすくなる中、市場の上昇・下落いずれの局面でも収益機会を追求できるヘッジファンドの柔軟性が改めて注目されています。

ヘッジファンドは、ロング・ショート戦略、相対価値戦略、イベントドリブン戦略など、多角的なアプローチにより、市場の歪みやボラティリティそのものを収益源に変えることが可能です。

特にインフレ環境は価格差や非効率が生まれやすく、ヘッジファンドの投資手法が最も力を発揮しやすい局面といえます。

当社は、15年にわたり培ってきたヘッジファンドビジネスの知見を活かし、日本市場の将来性に光を当てつつ、欧米に比べ遅れているといわれる国内運用ビジネスの発展にも貢献したいと考えています。

■ 今後の展開

当社は、これまで15年にわたり培ってきたヘッジファンドビジネスの知見をもとに、国内投資家の皆様へ新たな価値を提供することを目指しています。運用力・運用哲学が存分に発揮される金融商品を国内で取り扱うことで、日本の資産運用の高度化、ひいては国内企業の成長機会創出に貢献してまいります。
